

# 目 次

令和 6年 3月12日（火曜日）第2号

○招集年月日	-----	1 頁
○招集の場所	-----	1 頁
○開 議 日 時	-----	1 頁
○応 招 議 員	-----	1 頁
○不応招議員	-----	1 頁
○出 席 議 員	-----	1 頁
○欠 席 議 員	-----	1 頁
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○本会議に職務のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○議 事 日 程	-----	2 頁
○開 議 宣 告	-----	3 頁
○一 般 質 問	大谷議員 -----	3 頁
	・津波避難訓練は	
	辻紀樹議員 -----	5 頁
	・水道管の漏水について	
○休会の決定	-----	7 頁
○散 会 宣 告	-----	7 頁

# 令和6年第1回長万部町議会定例会（第2日目）

◎招集年月日 令和6年3月12日（火）

◎招集の場所 長万部町役場 議場

◎開議日時 令和6年3月12日（火） 午前10時00分

## ◎応招議員（9名）

<del>1番</del>	<del>辻</del>	<del>義雄</del>	6番	高	森	功	治			
2番	橋	本	收	司	7番	長	崎	厚		
3番	辻	紀	樹	8番	高	橋	克	英		
4番	大	谷	敏	弥	9番	村	川	毅		
5番	北	川	佳	嗣	10番	柏	倉	恵	里	子

## ◎不応招議員（1名）

4番 辻 義雄

◎出席議員 応招議員に同じ

◎欠席議員 不応招議員に同じ

## ◎地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町	長	木	幡	正	志	建設課長	上	野	訓		
副町	長	佐	藤	英	代	水道ガス課長	中	里	博	也	
総務課	長	佐	藤	久		出納室長	岡	野	喜	美	雄
まちづくり推進課	長	中	山	裕	幸	消防長	沼	田	明	宏	
新幹線推進課	長	岸	上	尚	生	病院事務長	本	前	武	広	
税務課	長	田	中	浩		病院事業推進室長	加	藤	典	明	
税務課	参事	佐	藤	修		教育長	近	藤	英	隆	
町民課	長	佐	藤	剛		社会教育課長	神	野	隆	之	
保健福祉課	長	岡	部	忠		選挙管理委員会書記長	佐	藤	久		
子ども子育て支援室	長	田	野	憲	哉	監査事務局長	増	田	理	恵	
産業振興課	長	小	川	洋		農業委員会事務局長	小	川	洋		
農業政策室	長	濱	谷	陽	一						

## ◎本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局	長	増	田	理	恵
事務局	主幹	佐	々	木	学
議事係		吉	井	雄	貴

---

◎議事日程

日程第1

一般質問

---

---

◎開議宣告

---

10時00分 開会

○議長（柏倉恵里子） ただいまの出席議員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

なお、欠席届が辻義雄議員よりありました。

本日の議事日程はあらかじめお手元に配付したとおりであります。

---

◎一般質問

---

○議長（柏倉恵里子） 日程第1、一般質問を行います。質問通告書は事前に配付しておりますが、質問者は2名、質問件数は2件となっております。

この際申し上げます。一般質問の質問時間は各議員40分以内と決定しております。質問時間の終了3分前と、終了時にブザーを鳴らしますのであらかじめご承知おきください。

それでは順次質問を許します。

大谷議員。

〔議員（4番 大谷敏弥）登壇〕

○議員（4番 大谷敏弥） 私は1問について質問いたします。津波避難訓練は。

能登半島地震の石川県珠洲市下出区では、高齢者は若者が背負うなどし、全員が高台の集合場所に避難し、死者はゼロだった。津波は天井付近まで浸水したものの、日頃「避難訓練」を続けてきてよかったと。また、全員無事だったのは偶然ではないと語っていた。何かあったら高台の集合場所を合い言葉に、毎年秋、集会場までの避難訓練を重ねてきたと。

また、訓練と平行し道路の避難整備や避難場所の道のりなど、住民の危機意識が次第に高まってきたと。長万部町も避難訓練を毎年実施し、町民に強く長い揺れがあれば、とにかく早く高い所に逃げる意識を浸透させる取り組みをしては。町長の所信を伺います。

〔議員（4番 大谷敏弥）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） 答弁をいたす前に、お見舞いを申し上げたいと思います。

1月1日、石川県能登半島沖で被害を受けられた多くの皆さんにご冥福を申し上げるとともに、1日も早い復興、お見舞いを申し上げたいと思います。

また、昨日も13年前の3月11日、東日本大震災でお亡くなりになられた方が、なんと2万2,222名と報道されました。未だかつて行方不明者が二千何百人おられるという報道もございました。13年経ってもまだ復興の途についたばかりという、大変大きな地震に対してお見舞いを申し上げながら、一般質問の回答をしたいと思います。

津波避難訓練は。本町におきましても、平成5年の北海道南西沖地震では、インフラや住宅、店舗など町内全域に多大な被害をもたらし、平成23年の東北地方太平洋沖地震では、津波により、ホタテ養殖施設等水産業に大きな被害を受けております。

津波避難訓練につきましては、私が町長に就任した翌年の平成28年10月に、全町一斉避難訓練を実施し、子どもから高齢者まで約1,100人の住民が、指定された避難所に避難いたしました。

た。

こうした経験や訓練結果をもとに、今後の防災教育の実施内容などを検討し、翌年から町内会等を単位とした防災出前講座を行っております。途中、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない時期もありましたが、昨年は、婦人赤十字奉仕団や町内会など5団体で「長万部町水災害避難啓発動画」を活用した防災出前講座を行うことができ、このうち温泉町内会では避難訓練を行っております。

本町では、海沿いに住む方、山あいに住む方など、地理的条件や町内会等によって異なるため、地域の実情に合わせた訓練や教育が必要であることから、具体的な避難方法などを住民のみなさんと一緒に考えていく防災教育の推進に努めているところでもあります。今後は、令和6年能登半島地震の教訓をもとに、避難訓練の重要性をこれまで以上に住民のみなさんに伝えるとともに、津波避難訓練の実施を計画してまいりたいと考えております。以上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 大谷議員。

○議員（4番 大谷敏弥） 何点か質問いたします。以前に行われた避難訓練は、全町一斉の実施でしたので、それは関係する人数も多くなり、負担もあるかと思えます。なので、各地域ごとに分け、避難訓練を行なっては。また、日をおいて次にどここの地域といった訓練を考えてはどうでしょうか。これによって人員も少なくすむと思えます。また、避難訓練をすることでいろんな課題や問題点も見えてくると思えます。いつ発生するかわからない地震にもすぐに対処できるという利点もあると思えます。町民の命を守ることを最優先に考えるという意味でも、毎年の避難訓練を実施することは大事なことと思えます。また、一度の避難訓練で参加できない人や、忘れてしまったりする人も出てくることもあると思えます。なので、大変だとは思いますが、できれば年に2回ほどの避難訓練の実施も考えてはと思えます。町長、いかがですか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 答弁でも申し上げましたけれども、長万部町の地形から言って、津波というのは本当に、もう見たら一瞬で来るものだから、なかなか避難訓練をきちっとやってないと大変なんです。

ただ、長万部の場合は今、山崩れ、土砂災害区域もあるし。それから大雨被害、水害、様々な被害が想定されているんですよね。だからその地域に住む人方が、何が、災害がこの地域は災害として大きなものと捉えるか。これによってその地域の人方を守るための避難訓練というのを考えなきゃいけない。

これはもう我々も今、年次計画で防災の方でも担当しているんだけど、去年も動画を作らせていただきました。あの動画を活用した中学校・高校生にも避難訓練のありかたを教育していきたい。そういう防災訓練のあり方というのは、逐一地域に入ってちゃんとやらないと、この地域ではこういう防災訓練をやった方が、命を守るためには効果的。そして浜側の地域というのは津波が一番怖い。その津波が起きたときには、どこへ避難するのということをきちっと方向性を見いだして、教育・訓練をしていかないと、ただただ全町一斉でやりましょうよ、ただ津波訓練やったときに、富野でも高台の人方がうちの津波来ないところに津波訓練に出動するのっていうことになってくる。

だからそこを考えながら、どの災害が起きたときにどこの避難所を使うか。どの災害が起きたときにどういう形でルートをつけて逃げていくかということも含めて考えていくため。

それからやっぱり高いところに逃げる、それだけじゃなくて上に上がるといことも考えなきゃいけない。だからそういう教育をしていくことが、やっぱり町民の生命も守っていくということも

大切だと思ってるんで、今後は防災を通じてそうした教育をやることによって、災害の啓発につながる、そう思ってこれからやっていきたいと思っています。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 以上で大谷議員の質問を終わります。  
辻紀樹議員。

〔議員（3番 辻紀樹）登壇〕

○議員（3番 辻紀樹） 私は水道管の漏水についての1件を質問いたします。

2月29日開催の全員協議会の冒頭、町長より2月26日に陣屋町旧佐々木配管付近の埋設水道管より漏水事故が発生、復旧に向けての取り組みについて口頭により説明されました。

その内容は、防災無線による漏水事故の対策啓発、復旧作業の進捗状況、濁り水などの影響を受ける需要家に対し水道料金の減免対策など。また、29日現在では破損箇所が届かず完全復旧には数日を要するとの説明を受けています。

説明を受けてから数日が経過しており、現在完全復旧はされたかお伺いいたします。

〔(3番 辻紀樹) 自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） 水道管の漏水について、ご回答申し上げます。

ご質問のとおり2月26日午前9時頃、字長万部220番地1の「長万部道路踏切」付近で水道管の漏水事故が発生いたしました。

町の対応といたしましては、まず踏切付近でもあり安全確保のため、防災ラジオで対象地区へ水道濁水注意喚起を行い、漏水箇所を断水して需要家に影響がないように配水系統を切り替えて掘削工事に入りました。しかし、地下埋設通信ケーブル管が障害となったことで別修繕部材が必要となり、やむを得ず修繕工事を延期いたしました。この状態が長引いたことから水流圧力の変動等により濁水が見られたため、再度防災ラジオで濁水の注意を対象区域にうながし、夜間まで濁水改善対応を行ったところ、2月28日には水質がほぼ通常どおりに戻っております。住民の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしましたことを改めまして深くお詫びをいたします。

なお、延期しておりました修繕工事につきましては、濁水等には十分配慮した上で3月5日から再開しており、3月18日頃までに配水系統も従来どおりに切り替えて完了する予定でございます。

また、静狩・双葉地区を除く長万部地区から国縫地区までの上水道の需要家に対しましては、3月分検針で上・下水道料金の超過料金を減額し、基本料金のみとさせていただきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。以上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 辻紀樹議員。

○議員（3番 辻紀樹） 何点か再質問させていただきます。18日までに、従来の排水系統に切り替えるのご答弁ですが、前回に比べ濁り水の発生は少なくなるということは考えられると思います。そこで、工事の日時や、水量、多量に水を必要とする商店・事業所への啓発はどのように考えていらっしゃるのでしょうか、お伺いします。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 原課との打ち合わせの中身では、今工事をして、もうパイプ自体は接続が終わってるんだけど、今後確認した上で最終的に18日までというのは、アスファルトを掛けて全部終わってから18日なんです。それで切り替え時、水の水量を切り替える時期には、とにかく事業所とかそっちの方にとりあえず連絡を入れて、そして夜間の工事にしたいと。ということで原

課から報告を受けておりますので、できるだけ漏水や濁水のないような形で処理していきたいと。そんなことで急がずに18日をひとつのめどとして工事を進めていく。そういう考え方でおります。

○議長（柏倉恵里子） 辻紀樹議員。

○議員（3番 辻紀樹） それが一番妥当だとは思うんです。なかなかこういう事故というのは発生するということはないわけですよ。今回の漏水の対応について、マニュアルみたいなもの、作業手順とかいうものは作っておいでになるのでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） マニュアルは従前どおりから作ってございます。それで項目は10項目からなるマニュアルを作ったやつは原課にございます。

○議長（柏倉恵里子） 辻紀樹議員。

○議員（3番 辻紀樹） それでは2点目の質問に、再質問をいたします。

水道料金の減免、これについてはある程度理解できるんですが、今回、下水道料金も減免ということで、そこまでやるのはなかなか今まではなかったような気がするんです。ただ、先ほどの質問で出ましたけど、南西沖地震の時には被害が多大になったものですから、そういう処置はされたという記憶はございます。今回は給水支管と言うんですかね、太いパイプの漏水ということで、被害がどうなるかわからないという点はあったと思います。なかなか支管がいくということは、なかなかない、今までもそんな聞いたことがありません。そういうことを考えて下水道の料金についても影響が大きいということで、減免という措置を取ったのでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 26日の漏水発生から、全体的にきれいになるまで28日までかかってるんだよね。遠い所は多少の濁水が出て、28日ということになったんですけれども、その中で、どこまで、どの範囲まで濁水流れたのかということについては、推定も想定もできない。それで今回は、水道料金は基本料金だけもらって、超過した分だけは今回減免しよう。そして上下水道やるというのは、水道と下水道の料金連動してるんですよ全て。それで水道・下水道を使っている、簡易の中では1,800戸くらいある。で、水道を利用している人2,232戸くらいだという想定を今しながら、想定しながら水道と下水道の両方をやります。そうしないと検針に行った人が、両方それぞれ検査の検針結果を調べた数字に出してくるものですから、それをやりたい。今回は大変迷惑掛けたということで、いち早く水道料金、下水道料金の減免に踏み切ったということで、ご理解をいただければありがたいと、そう思ってます。

○議長（柏倉恵里子） 辻紀樹議員。

○議員（3番 辻紀樹） そのとおりだと思います。結構被害が出ている、被害と言うんですかね。対応できなくて水を買って求めて歩いたという人も聞いておりますので、是非検討ではなくて実施していただきたいと思いますので、改めてその件については再度ご検討していただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

それで、最後の質問になりますけども、昨日もテレビのほうで地震のテロップが流れました。体を感じる微細な振動も年々多くなってきています。そこで埋設されている管の漏水というものは、いつどこで起こるかわからない。幸い今回1か所で、役場のほうの担当のほうで対応ができたと言うお話ですけど、数箇所へ渡って小さい枝管とか、そういう事が発生する可能性も出てきます。そこで、町内業者の配管業の事業所とあって、そこら辺の協定と言うんですかね、ガスの場合はいろいろあるんですが、そういう協定を結んで対策を結んでいらっしゃるのでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 最初の質問の内容なのですが、今14日から検針員が各家庭をお回りして最終的な検針の使用数量とかがわかってくるんだけど、それは待たずとも3月分の検針の数字を見なくて基本料金だけいただいて、あと超過した分については、一般家庭と事業所で異論がたくさんある。だけどそれは水の使い方なんでね、それをいちいち言ってもだめなんで、皆さんが使って超過した分については、これはもう減免しますよと。下水道もそうですよと。いうことを知らせるお知らせの紙を持って、検針員が水道・下水道の利用者に一戸一戸歩いて説明、細かな説明できないんですけども、チラシを配ってやると。だからこの減免についてはきちっと対応します。おおかた例年、この令和5年4年の今の時期の数字を読むと、だいたい水道料金で4～500万、これ全部調べなきゃわからないんだけど、下水道料金で200万超えるだろうと。大体600万から700万くらいの補償金額になるのではないかなとそう思ってます。それは最終的には確定、ここで今確定の数字は出せないんですけど、ただそういう結果になるだろうと。想定しながら、この減免事業は進めてまいりたい、そう思ってます。

それと今2問目の質問にあった災害の段階での協定なのですが、長万部協同組合、建設協会とも大きな災害時の応援もらうための協定、これは連携協定は結んでます。あと水道、日本水道協会とか、そういうところでも連携結んで、たとえば地震のような大きな災害が発生したときには、即お願いをするという体制になります。今回の場合は水道課の職員で対応できたんです。それはひとつ理解していただければありがたいと思ってます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 以上で辻紀樹議員の質問を終わります。

以上をもって一般質問は通告どおり全部終了いたしました。これにて一般質問を終わります。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

---

### ◎休会の決定

---

○議長（柏倉恵里子） お諮りいたします。予算審査特別委員会に付託された議案審査のため、13日と14日の2日間を休会としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって13日と14日の2日間を休会とすることに決定いたしました。なお、本会議は3月15日午後1時30分から再開いたしますのでご承知おきます。

---

### ◎散会宣告

---

○議長（柏倉恵里子） 本日はこれにて散会いたします。どうもご苦勞様でした。

10時22分 散会

---